



B.LEAGUE

B.LEAGUE 2023-24 SEASON REPORT

2023.10.05 thu -2024.05.28 tue

JAPAN PROFESSIONAL BASKETBALL LEAGUE

RYUKYU GOLDEN RING

ココロ、
たぎる。

2023年夏、男子日本代表が自力でパリ五輪への出場の切符を手にした
FIBA BASKETBALL WORLD CUP 2023では、バスケ界が最高の盛り上がりを見せました。
そして開幕前の7月には、世界に伍するリーグへの進化を目指した構造改革、B.革新を発表。

-
今度はB.LEAGUEがバスケ界を盛り上げる番だ！という思いを込め「IT'S OUR TURN!」
というテーマを掲げ、B.LEAGUE 2023-24 SEASONがスタート。

新型コロナウイルス感染症の逆境を乗り越え、過去最高の入場者数を記録した
2022-23シーズンを更に様々な面で超えることができたシーズンとなりました。

-
2022年、中止となった沖縄でのオールスターゲームを2024年1月リベンジ開催。
そのB.LEAGUE ALL-STAR GAME WEEKEND 2024 IN OKINAWAではアリーナ内だけでなく、
アリーナ外でもアーティストライブを中心としたイベントやドローンショー、花火などの
様々な催しを開催。過去最大規模のオールスターゲームとなりました。

-
リーグ戦においては、
クラブ主管試合では過去最高の入場者数となる10,513名を記録。
リーグ戦の総入場者数は3,324,301名となり、
B.LEAGUE開幕以降過去最高となる450万人を突破。
大きな飛躍を遂げた、8シーズン目となりました。





B.LEAGUE 2023-24 SEASON REPORT

INDEX

P03	MESSAGE
P04	B.LEAGUE 2023-24 SEASON CALENDAR
P05-P06	THE NUMBER OF ATTENDANCE
P06	B.LEAGUE SNS
P07	B.LEAGUE CLUB SNS
P08	B1 RESULT
P09	B2 RESULT
P10	B.LEAGUE 2023-24 SEASON CLUB AWARD
P11	日本生命 B.LEAGUE CHAMPIONSHIP 2023-24
P12	日本生命 B2 PLAYOFFS 2023-24
P13	B1 LEADERS
P14	B2 LEADERS
P15	B.LEAGUE 2023-24 SEASON BEST FIVE / SECOND TEAM
P16	B.LEAGUE 2023-24 SEASON MVP
P17	B.LEAGUE VARIOUS AWARDS
P18	B.LEAGUE ALL-STAR GAME WEEKEND 2024 IN OKINAWA
P19	B.LEAGUE HOPE
P20	B.LEAGUE U15 / U18
P21	B.LEAGUE INTERNATIONAL TRACK RECORD
P22	B.LEAGUE NEXT SEASON

B.LEAGUE CHAIRMAN

MESSAGE

島田慎二チェアマンより皆様へ

この度は多くのファン、パートナー、メディアの皆さまのご支援、ご協力のもと「日本生命B.LEAGUE FINALS 2023-24」「B.LEAGUE AWARD SHOW 2023-24」を経て、B.LEAGUE 8シーズン目を無事終えることが出来ましたこと、心より感謝申し上げます。

2023-24シーズンは、Bクラブの努力に加えて、2023年夏の「FIBAバスケットボールワールドカップ2023」の男子日本代表の活躍が追い風となり、過去最高の成長を遂げることができました。2016年開幕時と比較して入場者数は約2倍の4,515,851人と過去最多のお客様にご来場いただきました。また夢のアリーナも着々と建設・竣工・利用が全国で進み、各地域で益々の盛り上がりをみせております。

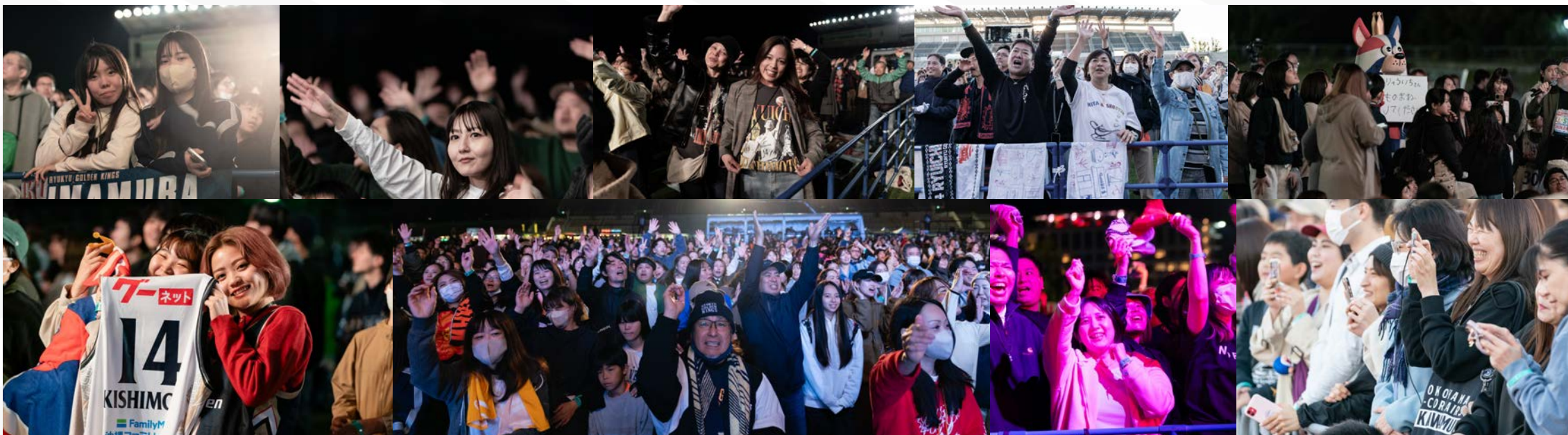
また先日発表いたしました、B.LEAGUE 2050 VISION『感動立国』を目指し、実現に向けて、「バスケットを愛するすべてのファン」「その時代を生きるすべての人」「Bクラブのあるすべての地域」「リーグを支えるすべての関係者」と、4つの視点から創出を目指す感動で、スポーツ界のみならず日本を成長させていくことを目指します。

そして、いよいよ「りそなグループ B.LEAGUE 2024-25 SEASON」において、2026年の『B.革新』に向け、B.LEAGUE PREMIERの入会審査が2024年10月から始まります。今シーズンもより多くの皆さまにバスケットボールを通して、「ココロ、たぎる。」瞬間をご提供し、スポーツ界の枠を超えて社会に貢献できるようチャレンジし続けてまいります。

今後ともご支援ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

B.LEAGUE CHAIRMAN
島田 慎二





B.LEAGUE 2023-24 SEASON

CALENDAR

2023年

6月3日-8月23日	B.LEAGUE U18 REGIONAL LEAGUE 2023 開催
8月5日-4日	B.LEAGUE 新人選手研修 2023 (オンライン)実施
8月5日	Bユース 保護者向け研修 実施
9月25日	B.LEAGUE 2023-24 SEASON TIPOFF CONFERENCE 開催
10月5日	B.LEAGUE 2023-24 SEASON 開幕
10月11日	東アジアスーパーリーグ「EASL」2023-34シーズン開催 ~2024年3月10日 優勝 千葉ジェッツ
10月15日-12月24日	B.LEAGUE U18 ELITE8 LEAGUE 2023開催
11月30日-12月3日	B.LEAGUE U18 CHAMPIONSHIP 2023 開催

2024年

1月12日-14日	B.LEAGUE ALL-STAR GAME WEEKEND 2024 IN OKINAWA 開催 B.LEAGUE U18 GAME CAMP IN OKINAWA B.LEAGUE ALL-STAR GAME WEEKEND 2024 IN OKINAWA B.Hope ACTION 「そなえてバスケット supported by 日本郵便」 / 「リモートコーチング」 supported by SoftBank 「プロチャレ! (プログラミングチャレンジ) supported by 富士通」 / B.Hopeキッズプログラム by 大塚製薬 「センサリールーム」 supported by FUJITSU 「そなえてバスケット supported by 日本郵便」 クラブ対抗戦「そなえてバスケット杯」開催
2月1日-4月2日	B.LEAGUE U16 CHALLENGE CUP 2024 開催
2月3日-4日	B.LEAGUE U18 INTERNATIONAL CUP 2024 開催
2月10日-12日	B.LEAGUE U15 CHAMPIONSHIP 2024 開催
3月27日-31日	B.LEAGUE U15/U18 選手研修 実施
4月25日	B.LEAGUE U15/U18 選手研修 実施
5月16日	日本生命 B.LEAGUE FINALS 2023-24 年間優勝 広島ドラゴンフライズ-
5月25日-28日	B.Hope ACTION 「UNIFIED SPORTS®BASKETBALL GAME」 /WITH 能登 SPECIAL GAME フィリピン・マニラにて「B.LEAGUE Hope ASIA Jr CLINIC MANILA Supported by POCARI SWEAT」開催 フィリピン・マニラにて「B.LEAGUE VIEWING PARTY MANILA」開催 B.LEAGUE AWARD SHOW 2023-24 開催 「Basketball Champions League Asia(BCL Asia)」開催 広島ドラゴンフライズ出場 3位入賞 中期経営計画B.LEAGUE VISION 2050 「感動立国」 発表

B.LEAGUE 2023-24 SEASON

A NUMBER OF ATTENDANCE

シーズン入場者数に関する記録

		2016-17	2017-18	2018-19	2019-20	2020-21	2021-22	2022-23	2023-24
B1	シーズン入場者数	1,500,767	1,564,298	1,662,119	1,144,415	882,440	1,193,713	2,488,846	3,324,301
	年間最多入場者試合	10,144 5/27 B.LEAGUE FINAL 川崎 vs 栃木 (代々木第一)	12,005 5/26 B.LEAGUE FINAL A東京 vs 千葉 (横浜アリーナ)	12,972 5/11 B.LEAGUE FINAL 千葉 vs A東京 (横浜アリーナ)	9,514 10/3 開幕戦 川崎 vs 宇都宮 (横浜アリーナ)	4,785 6/1 B.LEAGUE FINALS 宇都宮 vs 千葉 (横浜アリーナ)	8,309 5/22 SEMI FINALS 琉球 vs 島根 (沖縄アリーナ)	13,657 5/28 B.LEAGUE FINALS 千葉 vs 琉球 (横浜アリーナ)	13,203 5/26 B.LEAGUE FINALS 琉球 vs 広島 (横浜アリーナ)
	シーズン平均入場者数	2,779	2,897	3,078	3,260 ※23節終了時点	1,554	1,983	3,466	4,617
	シーズン最多平均入場者数	4,501 千葉ジェッツ	5,196 千葉ジェッツ	5,204 千葉ジェッツ	5,116 千葉ジェッツ	2,353 川崎ブレイドサンダース	4,763 琉球ゴールデンキングス	6,823 琉球ゴールデンキングス	7,746 琉球ゴールデンキングス
	シーズン最多入場者試合	7,327 5/3 千葉 vs 秋田 (千葉ポートアリーナ)	6,299 5/6 北海道 vs 新潟 (北海きたえーる)	6,760 4/21 大阪 vs 京都 (おおきにアリーナ舞洲)	6,472 12/5 大阪 vs 千葉 (おおきにアリーナ舞洲)	3,901 5/5 琉球 vs 千葉 (沖縄アリーナ)	8,263 5/4 琉球 vs 千葉 (沖縄アリーナ)	9,555 1/8 A東京 vs 川崎 (代々木第一)	10,513 4/28 A東京 vs 群馬 (代々木第一)
B2	シーズン入場者数	646,545	836,802	821,993	569,703	340,582	279,306	560,569	967,515
	年間最多入場者試合	4,899 4/30 熊本 vs 広島 (熊本県立総合体育館)	4,909 5/13 秋田 vs 熊本 (CNAアリーナ★あきた)	5,041 4/6 茨城 vs 群馬 (アダストリアみとアリーナ)	4,007 9/29 広島 vs 熊本 (広島サンブラザホール)	2,178 5/16 茨城 vs 仙台 (アダストリアみとアリーナ)	3,329 4/17 仙台 vs 福島 (セビオアリーナ)	7,523 5/21 佐賀 vs 長崎 (SAGAアリーナ)	6,454 4/21 神戸 vs 熊本 (ワールド記念ホール)
	シーズン平均入場者数	1,197	1,550	1,522	1,407 ※24節終了時点	747	778	1,335	2,304
	シーズン最多平均入場者数	2,105 熊本ヴォルターズ	2,897 秋田ノーザンハビネッツ	2,567 仙台89ERS	2,448 仙台89ERS	1,134 仙台89ERS	1,538 仙台89ERS	1,958 長崎ヴェルカ	5,005 アルティエリ千葉
	シーズン最多入場者試合	4,899 4/30 熊本 vs 広島 (熊本県立総合体育館)	4,721 3/17 秋田 vs FE名古屋 (CNAアリーナ★あきた)	5,041 4/6 茨城 vs 群馬 (アダストリアみとアリーナ)	4,007 9/29 広島 vs 熊本 (広島サンブラザホール)	2,056 11/22 仙台 vs FE名古屋 (セビオアリーナ仙台)	3,329 4/17 仙台 vs 福島 (セビオアリーナ)	5,443 4/9 西宮 vs A千葉 (グリーンアリーナ神戸)	6,454 4/21 神戸 vs 熊本 (ワールド記念ホール)
B1/B2 OVER-ALL		2,238,043	2,503,106	2,592,944	1,719,191	1,293,393	1,575,908	3,227,531	4,515,851

※2019-20 シーズンについては、B1・B2レギュラーシーズン中止開始節（B1 23節、B2 24節）までの入場者数

※2020-21シーズン開幕にあたって原則政府が示す目安である「入場制限付き開催（50%）」にて開催

※2020-21シーズンはB1 20クラブ/B2 16クラブでの開催

※2021-22シーズン途中より、順次「条件付き100%開催」へ移行したクラブあり

※2021-22シーズンはB1 22クラブ/B2 14クラブでの開催

※2021-22シーズンについては、リーグ戦終了時点の入場者数（チャンピオンシップ、B2プレーオフを含まず）

※2022-23シーズン2023-24シーズンはB1 24クラブ/B2 14クラブでの開催

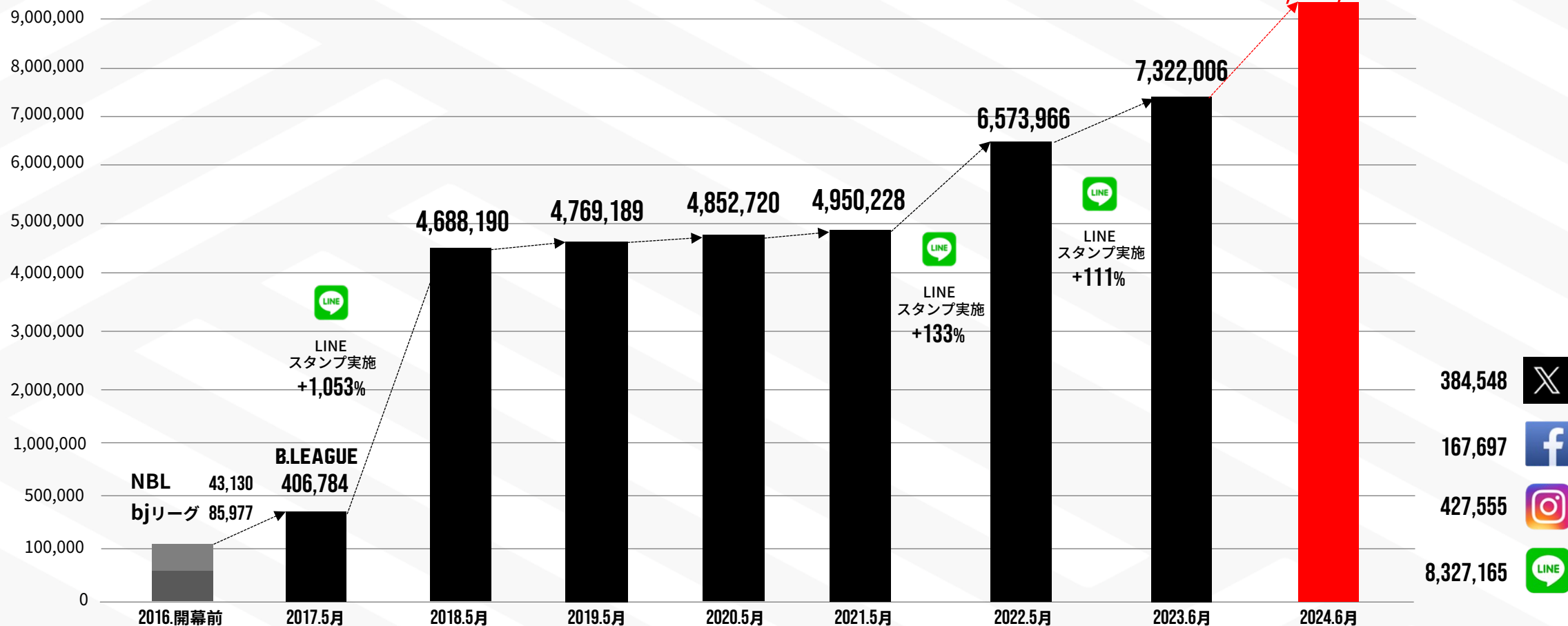
B.LEAGUE 2023-24 SEASON

B.LEAGUE SNS

リーグSNSフォロワー数

※対象SNS：Facebook, X, Instagram, LINE

フォロワー数 900万人超へ。



※2024年6月30日時点

B.LEAGUE CLUB SNS

クラブSNSフォロワー数 ※対象SNS：Facebook, X, Instagram

B1・B2クラブの合計ファン数は約450万人突破。

B1

	2017-18	2018-19	2019-20	2020-21	2021-22	2022-23	2023-24
ファン数	1,436,969	1,660,548	1,871,715	2,214,715	2,699,210	3,260,349	3,736,235
最多合計 ファン数	232,497 千葉J	250,492 千葉J	269,964 千葉J	286,316 千葉J	312,608 千葉J	354,712 千葉J	443,696 千葉J
最多 ファン数	80,976 千葉J	80,347 千葉J	79,556 千葉J	79,047 千葉J	77,897 千葉J	77,266 千葉J	77,597 千葉J
最多 ファン数	134,353 栃木(現宇都宮)	140,817 千葉J	149,087 千葉J	158,400 琉球	199,736 琉球	228,208 琉球	235,398 琉球
最多 ファン数	18,562 琉球	29,328 千葉J	41,321 千葉J	53,221 千葉J	67,046 千葉J	94,516 千葉J	161,846 千葉J

B2

	2017-18	2018-19	2019-20	2020-21	2021-22	2022-23	2023-24
ファン数	480,675	495,929	547,320	519,523	565,300	643,005	854,056
最多合計 ファン数	73,178 秋田	53,950 熊本	56,589 熊本	58,899 熊本	66,068 熊本	82,183 熊本	110,142 滋賀
最多 ファン数	17,191 広島	17,328 広島	17,386 広島	17,137 熊本	16,772 熊本	16,735 熊本	16,685 熊本
最多 ファン数	63,419 秋田	30,503 熊本	32,017 熊本	33,608 熊本	44,596 福岡	52,677 熊本	62,493 滋賀
最多 ファン数	5,111 福岡	6,171 熊本	9,240 広島	9,974 福岡	11,893 仙台	15,158 長崎	32,319 滋賀

※2024年6月30日時点

B1 RESULT

リーグ戦最終順位表 B1

EASTERN CONFERENCE-東地区-

順位	チーム	勝	負
1	 宇都宮ブレックス	51	9
2	 アルバルク東京	48	12
3	 千葉ジェッツ	35	25
4	 群馬クレインサンダース	31	29
5	 秋田ノーザンハピネッツ	30	30
6	 仙台89ERS	27	33
7	 レバンガ北海道	17	43
8	 茨城ロボッツ	12	48

CENTRAL CONFERENCE-中地区-

順位	チーム	勝	負
1	 三遠ネオフェニックス	46	14
2	 シーホース三河	36	24
3	 サンロッカーズ渋谷	35	25
4	 川崎ブレイブサンダース	33	27
5	 ファイティングイーグルス名古屋	33	27
6	 横浜ビー・コルセアーズ	24	36
7	 信州ブレイブウォリアーズ	10	50
8	 富山グラウジーズ	4	56

WESTERN CONFERENCE-西地区-

順位	チーム	勝	負
1	 名古屋ダイヤモンドドルフィンズ	41	19
2	 琉球ゴールデンキングス	41	19
3	 広島ドラゴンフライズ	36	24
4	 島根スサノオマジック	32	28
5	 佐賀バルナーズ	29	31
6	 長崎ヴェルカ	27	33
7	 大阪エヴェッサ	25	35
8	 京都ハンナリーズ	17	43



B2 RESULT

リーグ戦最終順位表 B2

EASTERN CONFERENCE- 東地区 -

順位	チーム	勝	負
1	 アルティーリ千葉	56	4
2	 越谷アルファーズ	35	25
3	 山形ワイヴァンズ	31	29
4	 青森ワッツ	29	31
5	 福島ファイヤーボンズ	24	36
6	 岩手ビッグブルズ	20	40
7	 新潟アルビレックスBB	7	53

WESTERN CONFERENCE- 西地区 -

順位	チーム	勝	負
1	 滋賀レイクス	44	16
2	 ライジングゼファー福岡	36	24
3	 熊本ヴォルターズ	33	27
4	 ベルテックス静岡	29	31
5	 神戸ストークス	29	31
6	 バンビシャス奈良	24	36
7	 愛媛オレンジバイキングス	23	37



B.LEAGUE 2023-24 SEASON

CLUB AWARD クラブ表彰

B.LEAGUE 2023-24 SEASON CHAMPIONS

- B.LEAGUE 年間優勝 -



広島ドラゴンフライズ (西地区3位)

- B.LEAGUE 年間準優勝 -



琉球ゴールデンキングス
(西地区2位)

- B1 地区優勝 -



- 東地区 -
宇都宮
ブレックス



- 中地区 -
三遠
ネオフェニックス



- 西地区 -
名古屋ダイヤモンド
ドルフィンズ

- B2 年間優勝 -



滋賀レイクス (西地区1位)

- B2 年間準優勝 -



越谷アルファーズ
(東地区2位)

- B2 地区優勝 -



- 東地区 -
アルティール千葉



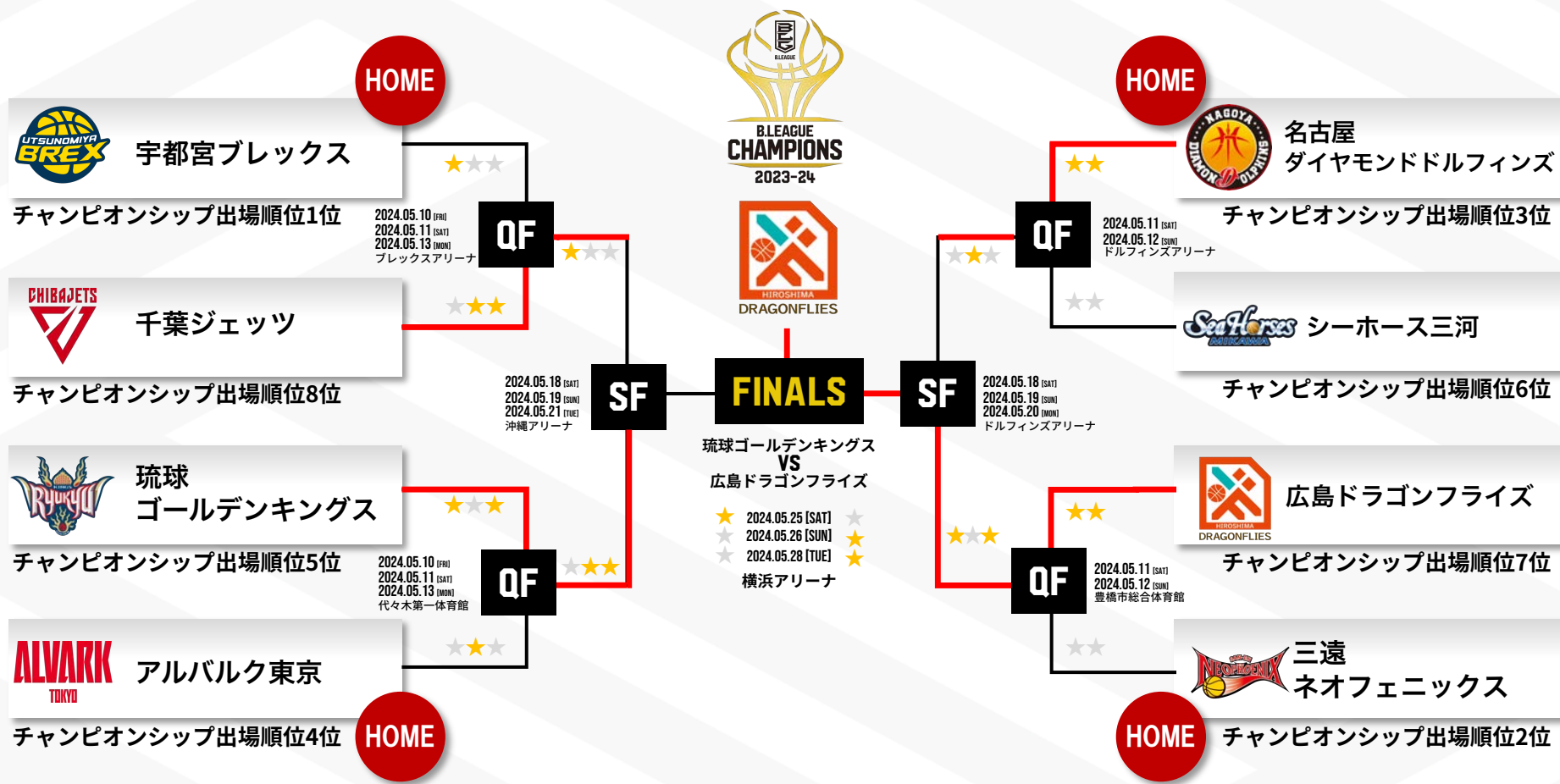
- 西地区 -
滋賀レイクス



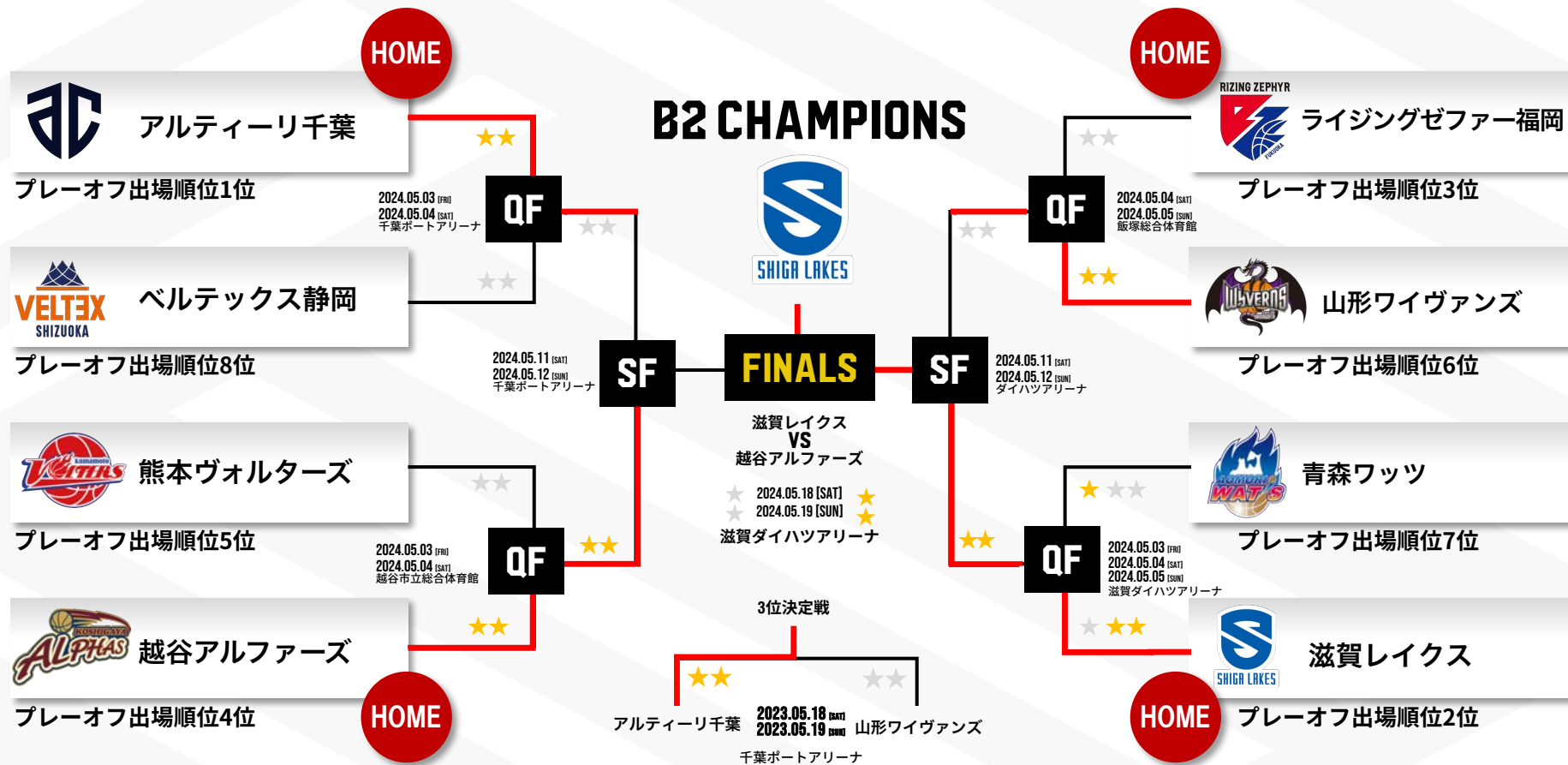


日本生命 B.LEAGUE CHAMPIONSHIP 2023-24

日本生命 B.LEAGUE FINALS 2023-24



日本生命 B2 PLAYOFFS 2023-24



B1 LEADERS

B1リーダーズ表彰

得点王

PERRIN
BUFORD



島根
スサノオマジック
#2 ペリン・ビュフォード

PERRIN BUFORD

22.6

アシスト王



横浜
ビー・コルセアーズ
#5 河村 勇輝

YUKI KAWAMURA

8.1

リバウンド王

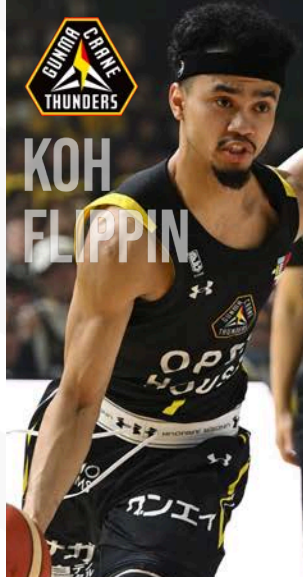


千葉ジェッツ
#33 ジョン・ムーニー

JOHN MOONEY

12.0

スティール王



群馬
クレインサンダーズ
#1 コー・フリッピン

KOH FLIPPIN

1.9

ブロック王



サンロッカーズ渋谷
#8 ジョシュ・ホーキンソン

JOSH HAWKINSON

1.3

ベスト 3P成功率賞



宇都宮ブレックス
#6 比江島 慎

MAKOTO HIEJIMA

44.0%

ベスト FT成功率賞



茨城ロボッツ
#25 平尾 充庸

ATSUNOBU HIRAO

91.1%

B2 LEADERS

B2リーダーズ表彰

得点王



EUGENE
PHELPS

愛媛
オレンジバイキングス

#4 ユージーン・フェルプス

EUGENE PHELPS

22.6

アシスト王



YUICHI
IKEDA

青森ワッツ

#12 池田 祐一

YUICHI IKEDA

7.9

リバウンド王



EUGENE
PHELPS

愛媛
オレンジバイキングス

#4 ユージーン・フェルプス

EUGENE PHELPS

12.9

スティール王



KELVIN
MARTIN

岩手ビッグブルズ

#34 ケルヴィン・マーティン

KELVIN MARTIN

2.0

ブロック王



CHEIKH
MBODJ

バンビシャス奈良

#22 シェイク・ムボジ

CHEIKH MBODJ

1.5

ベスト
3P成功率賞



YUTO
OTSUKA

アルティーリ千葉

#24 大塚 裕土

YUTO OTSUKA

44.0%

ベスト
FT成功率賞



TAKAAKI
KIDA

アルティーリ千葉

#0 木田 貴明

TAKAAKI KIDA

87.0%

REGULAR SEASON BEST 5/SECOND TEAM

REGULAR SEASON BEST 5



MAKOTO
HIEJIMA

宇都宮ブルックス

#6 比江島 慎

MAKOTO HIEJIMA



25
D.J. NEWBILL

宇都宮ブルックス

#25 D.J. ニュービル

D.J. NEWBILL



YUKI
TOGASHI

千葉ジェッツ

#2 富樫 勇樹

YUKI TOGASHI



YUKI
KAWAMURA

横浜

ビー・コルセアーズ

#5 河村 勇輝

YUKI KAWAMURA



PERRIN
BUFORD

島根

スサノオマジック

#2 ペリン・ビュフォード

PERRIN BUFORD

REGULAR SEASON SECOND TEAM



千葉ジェッツ

#33 ジョン・ムーニー

JOHN MOONEY



アルバルク東京

#3 テーブス 海

HAI TOEWS



アルバルク東京

#11 セバスチャン・サイズ

SEBASTIAN SAIZ



三遠

ネオフェニックス

#4 コティ・クラーク

COTY CLARKE



名古屋ダイヤモンド

ドルフィンズ

#2 齋藤 拓実

TAKUMI SAITO

B.LEAGUE 2023-24

REGULAR SEASON MVP

D.J. NEWBILL



宇都宮ブレックス
#25 D.J・ニュービル



B.LEAGUE 2023-24

REGULAR SEASON VARIOUS AWARDS

B1 B2 個人表彰/特別表彰



<投票いただいたメディア>

NHK、日本テレビ放送網株式会社、テレビ朝日、(株)TBSテレビ、テレビ東京、(株)フジテレビジョン、熱血バスケット、バスケットLIVE、HJホールディングス株式会社(Hulu)、共同通信社、時事通信社、朝日新聞社、日本経済新聞社、日刊スポーツ、東京中日スポーツ、Sports Graphic Number、日本文化出版株式会社(月刊バスケットボール)、株式会社ダブドリ、バスケット・カウント、バスケットボールキング、バスケットボールスピリッツ、札幌テレビ放送株式会社、秋田魁新報社、下野新聞社、上毛新聞社、地域情報サイトまいふれ、JCOM株式会社、シブヤ経済新聞、神奈川新聞社、テレビ神奈川、長野朝日放送、名古屋テレビ放送、東海テレビ、テレビ愛知株式会社、読売テレビ、山陰中央新報社、広島テレビ放送、佐賀新聞、長崎真珠、青木宗、青木美帆、大島和人、小沼亮平、小永昌子、永塚和志、松原貴美、吉川哲彦、佐々木ノリス(B.LEAGUEアナリスト)

B.LEAGUE ALL★STAR GAME WEEKEND 2024 IN OKINAWA



開幕初年度は、国立代々木競技場第一体育館で約10,000人のファンが駆けつけ大成功をおさめました。復興支援を軸に開催された翌年の熊本大会では、選手達が熊本地震/九州北部豪雨被害にあった地域を訪問し被災地の方々と触れ合い、そして、3度目は富山県富山市で開催。4年目は北の大地 北海道札幌市、いずれも多くのファンの方々の笑顔を目にすることができました。そして5年目の茨城県水戸市で開催される予定だったオールスターゲームは、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。2022年も同様に沖縄大会は新型コロナウイルス感染症の影響により中止…2年連続で中止という憂き目に遭うも、2023年は茨城県水戸市でのリアル開催が実現。地域創生を目指し、様々な取り組みを実施いたしました。そして2024年の沖縄リベンジ開催では初となる3DAYS開催。ファンと共に作りあげる新しい世界「FANDER WORLD（造語）」をテーマにバスケットを中心とした様々な催しをARENA（沖縄アリーナ）で、アーティストLIVEを中心とした催しをPARK（沖縄市陸上競技場）で開催。過去最大規模での開催により、より多くのファンの方々の笑顔をお届けすることができた大会となりました。

FANDER WORLD

CONTENTS

B.LEAGUE ALL★ STAR PARK

B.LEAGUE ASIA RISING STAR GAME

SKILLS CHALLENGE

3POINT CONTEST

DUNK CONTEST

B.LEAGUE U18 ALL★ STAR GAME

B.LEAGUE ALL★ STAR GAME

B.HOPE ACTION

INBOUND

PARTNER ACTIVATION ・ ・ ・ ETC





B.LEAGUE HOPE

スポーツリーグとして日本初の社会的責任活動プロジェクト。
ステークホルダーとともにさまざまな社会的責任活動を
「B.LEAGUE Hope (B.Hope)」と称し、推進。



テクノロジーを活用し、 遠隔で指導を実施

離島の中学バスケットボール部員がプロ選手のお手本動画を見て練習し、部員が撮影した動画でAIスマートコーチの骨格解析の使用や遠隔指導を受け、基礎スキルの向上を目指す。オールスター当日にスキルズチャレンジを実施。



IT格差の是正と 創造性を育む機会を提供

「ロボットがバスケットボールコートに見立てたオリジナルのコースを走行するプログラム」を作成できるロボットプログラミング教室を開催。



安心でき空間境で スポーツ観戦ができる環境を提供

センサールームは、明るい光や大きな音、人混みが苦手な方が、ブラインドで室内の照度を調整し、静かな環境でスポーツ観戦を楽しめる機会・空間を提供。



バスケットボールをしながら、 楽しく防災知識を学ぶ機会を提供

バスケットボールを楽しみながら防災の知識を深められる「ディフェンス・アクション（防災バスケット）」を実施。2024年2月～3月には「そなえてバスケット杯」を開催し、クラブとともに各地域における防災教育を実施。



成長過程の子どもたちへ 運動をすることの楽しさを提供

運動の楽しさと共に、動いたら休む、水分補給するといった健康的な身体づくりを支える生活習慣の重要性を伝え、オールスター出場選手と一緒にバスケットボールを通じて身体を動かすことの楽しさを提供。



令和6年能登半島地震 復興支援活動 奥能登の子どもたちを「日本生命 B.LEAGUE FINALS 2023-24」へ招待

プロ選手とコーチによるバスケットボールクリニックの開催や、横浜アリーナのメインコートでSPECIAL GAMEを開催。



日本バスケットボール選手会と被災地へ訪問 ゴール・ボールの寄贈や炊き出しを実施

珠洲市と輪島市へゴールとボールの寄贈や選手との交流会、炊き出しを実施。七尾市では選手によるバスケットボールクリニックを開催。



知的障がいのある人となない人で バスケットボールを通して共生社会を体現

スペシャルオリンピックス日本のSOアスリートとB.LEAGUE選手が特別チームを結成し、ユニファイドスポーツ®バスケットボールゲームを開催。



HEROs PLEDGE の一環として ごみ分別の啓発活動を実施

「日本生命 B.LEAGUE FINALS 2023-24」の会場にてごみ分別に関する啓発パネルの掲載や、ファンの皆さんへ分別の呼びかけを実施。





B.LEAGUE U15 / U18

B.LEAGUEのミッションである「世界に通用する選手の輩出」に向けて、2023-24シーズンはU15では48クラブ、U18では35クラブのユースチームが活動。2023年8月からは「B.LEAGUE U18 NEXT STAR PROJECT Supported by 東京天竜」を始動させ、ワールドカップの現地観戦やCAMP開催、2024年1月にはALL-STARにも参加し、より強い個の育成を図った。また、2024年2月に開催された「B.LEAGUE U16 CHALLENGE CUP 2024」ではチェコと韓国、そして「B.LEAGUE U18 INTERNATIONAL CUP 2024」ではドイツと中国のチームをそれぞれ招聘し、海外との交流を行うなど新たな事業に挑んだシーズンとなった。

[2023-24 シーズンの取り組み]

2023年	6月3日-8月23日	B.LEAGUE U18 REGIONAL LEAGUE 2023 開催
	8月5日	Bユース保護者向け研修 実施
	8月28日-30日	2023 FIBA BasketBall WorLd Cup の観戦
	9月16日-17日	B.LEAGUE U18 TRYOUT CAMP 2023
	10月15日-12月24日	B.LEAGUE U18 ELITE8 LEAGUE 2023 開催
	11月30日-12月3日	B.LEAGUE U18 CHAMPIONSHIP 2023 開催
	12月21日	第1回Bユース指導者研修 実施
2024年	1月14日	B.LEAGUE U18 GAME CAMP 2024 in OKINAWA
	1月19日	第2回Bユース指導者研修 実施
	2月3日-4日	B.LEAGUE U16 CHALLENGE CUP 2024 開催
	2月10日-12日	B.LEAGUE U18 INTERNATIONAL CUP 2024 開催
	3月14日	第3回Bユース指導者研修 実施
	3月27日-31日	B.LEAGUE U15 CHAMPIONSHIP 2024 開催
	4月25日	BユースU15/U18選手研修 実施
	5月16日	BユースU15/U18選手研修 実施

B.LEAGUE U15 CHAMPIONSHIP 2024

7回目の開催となった本大会では過去最多の48チームが出場、5日間にわたり予選リーグ、決勝トーナメントを開催。決勝では横浜BC U15が12点差のビハインドを第4Qに逆転し琉球U15を下して悲願の初優勝を達成。同チームの渡辺聖がMVPに輝いた。



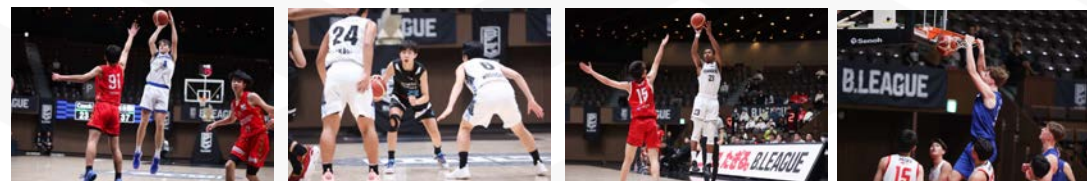
B.LEAGUE U18 NEXT STAR PROJECT SUPPORTED BY 東京天竜

各クラブから推薦されたU18選手が2023年8月開催の「2023 FIBA BasketBall World Cup」を現地沖縄アリーナにて観戦し、同年9月にはこのメンバーにリーグ推薦選手を追加して「B.LEAGUE U18 TRYOUT CAMP 2023」を初めて開催。また、この中から選抜されたU18選手24名は、2024年1月に「B.LEAGUE U18 GAME CAMP 2024 in OKINAWA」としてALL-STARに参加、2023年夏に世界の舞台となった沖縄アリーナで躍動した。



国際交流

「B.LEAGUE U16 CHALLENGE CUP 2024」(以下U16CC2024)にチェコ、韓国を、「B.LEAGUE U18 INTERNATIONAL CUP 2024」(以下U18IC2024)にドイツ、中国をそれぞれ招聘し大会を開催。U16CC2024では、決勝で名古屋D U16がグループ予選で負けたリベンジを果たす形でチェコを撃破し、初優勝を果たした。またU18IC2024では、高さのある広東宏遠U18(中国)に対して北海道U18と千葉J U18が勝利。決勝は「B.LEAGUE U18 CHAMPIONSHIP 2023」でも3連覇を達成した北海道U18がFRAPORT SKYLINERS(ドイツ)と対戦。FRAPORT SKYLINERSは序盤から完成度の高いプレーで得点を重ね、北海道U18を破って優勝。両大会を通して、U15/U18選手にとって世界を体感する貴重な機会となった。



B.LEAGUE INTERNATIONAL TRACK RECORD

2023-24 SEASON は、アジア戦略4年目にして事業領域が大きく拡大。放送とSNSのコンテンツを通じた発信のほか、現地でのイベントやインバウンドなどB.LEAGUEへの認知やファンが広がりを実感。2024-25 SEASONのさらなるアジア特別枠拡大に向けての基盤を作った一年となりました。

リーグ間の交流



今までの韓国の「KBL」との交流に加えて、今シーズンも各国のリーグと密に連携・交友を深めました。

オーストラリア「NBL」とMOU締結

▶オーストラリアの高い競技技術やユースの交流

インドネシア「IBL」とMOU締結

▶B.LEAGUEのリーグモデルの輸出や共有

島田CMのNBA本社訪問

NBA Asia が日本生命B.LEAGUE FINALS 2023-24の観戦

中国バスケットボール協会会長 ヤオミンが
ASG観戦に来訪

海外放映の拡大



フィリピンの地上波放送「CIGNAL」、
ケーブル放送「Solar」で放映開始

インドネシアの地上波放送「TVRI」
での放送開始

ASGの海外配信2023-24 SEASONでは世界
8カ国に配信

FINALSではさらに世界16カ国に拡大！

インバウンド施策の実施



沖縄でのASGでは、ゲーム観戦や選手との
ミートアンドグリーツなどのアクティベ
ーションを含めた初のホスピタリティパッ
ッケージを販売しました。

また、インバウンドツアーとして、広島にて
三遠ネオフェニックスの試合観戦も実施。
フィリピンの小売販売店とのコラボレー
ションも実現し、インバウンドツアーへの送客も
行いました。

フィリピンでのイベント実施



今年は日本のFINALS実施にあわせて、
フィリピンにてイベントを開催。

B.Hope Asia 始動！

マニラでのJr CLINIC 開催

▶青少年向けバスケットボールプログラムを
実施。大塚製薬株式会社の現地法人のご協力のも
と、水分補給と運動参加の重要性を伝えました。

海外初のパブリックビューイング実施

▶マニラのMOA Music Hallにてパブリックビュー
イングイベントを開催。

FINALSの観戦のほか、選手とのミートアンドグ
リートやギブアウェイで、現地のB.LEAGUEファン
との交流の機会が実現しました。

JAPAN PROFESSIONAL BASKETBALL LEAGUE

PAGE .22



B.LEAGUE

THANK YOU FOR ALL